

ストラスブールで学んだ、あるいは獲得した3つのこと

今回、私はフランスにあるストラスブールという都市でフランス語、フランス文化に関する研修を行ってきました。言語については、現地の人はフランス語を話し、文化も日本とは異なるものでした。日本での生活と異なる面が多くありましたが、そのストラスブールでの研修中に学んだものもその分多かったです。以下では、私がこのフランス語研修において学んだ3つのことについてそれぞれ書いていきます。

まず1つ目に、現地の人とコミュニケーションをとる上で、自分自身の考えていることをより正確に伝えようと努力しました。日本で他人に自分の意思を伝えることは簡単ですが、それがフランス語でとなると難しいところがあります。そのため、身振り手振りを十分に活用して、相手に伝えたいことを伝えるようにしました。

お店やレストラン、街中では多くの人が伝えたいことを熱心に聞いてくれました。ほとんどの人はフランス語で話して来ましたが、中には英語やその他よくわからない言語で話してくれる人もいました。コミュニケーションという点においては、日本と比べてとても親切に感じました。

研修の中頃に行われた家庭訪問でも、活発な会話ができました。家庭では、アルザスの伝統料理をご馳走になり、ストラスブールで有名なカーニバルも見に行くことができました。この家庭訪問は、ストラスブールの文化を感じる上で非常に有意義な体験で、フランスの一般的な家庭の様子を知ることができとても良かったです。

ストラスブール大学での授業も非常に良かったです。主に会話の授業で、活発な会話ができました。授業では、観光案内所で話を聞くといった実践的なものもありました。また、教えてくださった先生もとてもエネルギッシュな方で、フランス語の会話、リスニングがとてもできるようになりました。

授業は教室で行うもの以外にも、ストラスブールの有名な場所を訪ねるものもありました。例として、カテドラルや美術館へ行きました。ストラスブールのきれいな街並みやその雰囲気を味わうことができました。カテドラルはとても綺麗で、その時代に造られたとは考えづらいほど壮大でした。自由時間も含めて、フランスの空気を堪能しました。

2つ目にフランスの日常的な生活を体験することができました。例えば、ストラスブールのスーパーマーケットで買い物をするとき、そこでは日本のスーパーマーケットと大きく異なることがいくつかありました。お店に入るときのゲートやカゴの形、レジでのお会計の方法などです。これらの違いは実際にストラスブールを訪れなければ体験できないものであり、フランスの生活を体験することができました。

その他にも、階の教え方やお店の営業時間についても日本と異なるものがありました。さらには支払い方法についても、フランスの人はカード払いが多いなどの違いがあり驚きました。

ストラスブールでは交通機関として用いるものは主にトラムでした。トラムは電車とバ

スの中間のようなもので、電車よりも気軽に乗ることができ、バスよりも揺れが少なく便利な乗り物でした。街中では自転車で移動している人も多く見かけました。

フランスの日常的生活は、日本のものと比べて全体的にのんびりしている気がしました。もちろん、2週間という短い期間の滞在であったというのがありますが、とても過ごしやすく感じました。

3つ目に、ストラスブールならではの特別な体験をすることができました。ストラスブールのカテドラルももちろんですが、欧州議会の見学はとても貴重な体験でした。ストラスブール大学のキャンパスから欧州議会まではトラムを使って移動したのですが、駅で降りた時から雰囲気は独特でした。周りの警備は厳重であり、初めての体験でした。欧州議会自体はとても大きく、私たちが見学した時には何かが開催されており、議会らしさを体験することができました。

その他にも、ストラスブールを流れる川で運行されているボートにも乗りました。このボートからはストラスブールの中でも有名な川沿いの建物を見ることができました。また、音声ガイドもついていて非常に楽しめました。

ストラスブールの中で、川に囲まれた島状の地区があり、この地区には多くのお店がありました。その中でも特にカフェが多くあり、ここでもまた日本との違いを実感しました。また、レストランやお菓子屋さんも日本と比べて非常に多い印象を受けました。

今回このフランス語の研修に参加してみて、フランス語のみならず、日本とは異なるフランスの文化についても活動を通して実体験することができました。学んだものはフランスに関するものばかりではありますが、その学んだものを基に日本と比較してみることで、また新たな視点から物事をみることができそうです。

この体験は非常に有意義なものであり、今後の生活に活用していきたいと思います。